

**製品名: インヒピン  $\beta$ B (15X19) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe12611**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください (12 ヶ月有効)。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG (リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有)。短期保存は $+4^{\circ}\text{C}$ 、長期保存は $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	45kDa

**抗原情報**

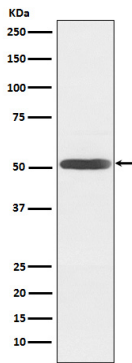
遺伝子名	INHBB
別名	Activin beta B; INHBB;
遺伝子 ID	3625.0
SwissProt ID	P09529
免疫原	ヒトインヒピン $\beta$ B の合成ペプチド

**背景**

インヒビンとアクチビンは、それぞれ下垂体によるフォリトロピンの分泌を阻害および活性化します。インヒビン/アクチビンは、サブユニット構成に応じて、視床下部および下垂体ホルモンの分泌、性腺ホルモンの分泌、生殖細胞の発達と成熟、赤血球の分化、インスリン分泌、神経細胞の生存、胚の体軸の発達、骨の成長など、多くの多様な機能の調節に関与しています。インヒビンとアクチビンは、それぞれ下垂体によるフォリトロピンの分泌を阻害および活性化します。インヒビン/アクチビンは、サブユニット構成に応じて、視床下部および下垂体ホルモンの分泌、性腺ホルモンの分泌、生殖細胞の発達と成熟、赤血球の分化、インスリン分泌、神経細胞の生存、胚の体軸の発達、骨の成長など、多くの多様な機能の調節に関与しています。インヒビンはアクチビンの機能に拮抗するようです。

## 研究分野

## 画像データ



マウス脳溶解物中のインヒビンベータ B 発現のウェスタンブロット分析。